

佐賀県教育大綱2019(案)について

第14回佐賀県総合教育会議

令和元年5月13日

策定スケジュール(総合計画含む)

3月25日 第13回総合教育会議

- ・教育大綱2019の構成案について提示
- ・本県教育に関する知事と教育委員会の意見交換

4月25日 総合計画素案を公表

5月13日 第14回総合教育会議

- ・教育大綱2019(案)を提示
- ・教育委員会と協議・調整

6月中旬 総合計画案 6月議会議案提出

7月下旬 総合計画策定

7月下旬 教育大綱2019を策定
(佐賀県総合計画2019策定後)

1 教育大綱2019(案)の構成案

	章立て	概要	備考
1 はじめに	(1) 策定の趣旨		
	(2) 位置付け	法令に基づく策定である旨記載	
	(3) 計画期間	<u>4年間(令和元年～令和4年)</u>	総合計画2019と整合
	(4) 大綱の見直し	適宜見直し	
	(5) 推進に当たっての姿勢	「現場」「ミッション」「プロセス」	
2 取組の方向性		基本施策ごとに以下を記載 ・目指す将来像 ・課題・対応 ・取組方針	総合計画2019と整合

2 教育大綱2019(案)

(1)はじめに

策定の趣旨

平成から令和の世へと、新しい時代が幕を開けました。

この新しい時代は、グローバル化・ボーダレス化の中でヒトやモノが世界を行き交い、また、ICT化が進み、様々な産業において第4次産業革命が一層進展していきます。さらに、人口減少や少子高齢化の急速な進行などに伴い、これまでの常識が当てはまらない予測不可能な未知の世界でもあります。

このような社会の変化を前向きに受け止め、若者たちが、自ら考え、行動していく力を身につけるため、教育においては、「知（確かな学力）」、「徳（豊かな心）」、「体（健やかな体）」とともに、佐賀への誇りとグローバルな視点を持って主体的に社会と関り、豊かさを創造していく「人」を育成することが求められています。

佐賀県には、幕末・維新时期において、世界を見ながら新しい国づくりの原動力となった多くの人材を輩出した人づくりの伝統や、人と人の結びつきの強さなど、「人」を大切にしてきた歴史や風土があります。県では、県民の皆様が、佐賀の魅力に気づき、そこから生まれる佐賀への誇りを未来に向けたエネルギーにしたいとの思いで、明治維新から150年を機に「肥前さが幕末維新博覧会」を開催し、若者たちを中心に未来への志の種を蒔くことができました。

その維新博で、150年後の今を生きる人々へ送られた「変わらぬままであろうあの佐賀の空へ枝を広げる木々に、どうかあなたたちが水を与え続けていただきたい。そして願わくば、新たな種をまいていただきたい。」というメッセージには、これからの時代を創り出していく若者たちに「志」を持って生きてほしい、という願いが込められています。佐賀県の未来を切り拓いていくため、若者たちの胸に、佐賀への誇りと、何かを成し遂げたいという強い「志」を育んでまいります。

こうした想いのもと、知事と県教育委員会が連携・協力して、本県における教育、生涯学習、文化・スポーツの振興に関する施策を総合的に推進していくため、「佐賀県教育大綱2019」を策定します。

県民の皆様が、志を持って、様々なところ様々な分野で輝いている、佐賀を基軸に未来を描いている、そういう佐賀県を見据えて、これからも人づくりにしっかりと取り組んでまいります。

佐賀県知事 山口 祥義

2 教育大綱2019(案)

(1)はじめに

位置づけ

この大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第1項の規定に基づき、本県の教育、学術及び文化等の振興に関する総合的な施策の基本的な方針を定めるものです。

計画期間

令和元年度から令和4年度までの4年間とします。

大綱の見直し

社会経済情勢の変化等に的確に対応していくため、佐賀県総合計画との整合を図りながら、適宜、見直しを行います。

2 教育大綱2019(案)

(1)はじめに

推進に当たっての姿勢

〈前回会議の意見〉

(知事)ルールが実態と乖離しないよう議論し、表裏を無くしてほしい。合わせて、嘘をつかないこと。

今回追加記載

教育現場の制度、運用ルール等について、子どもたちのためになっているか、現場の実態と乖離がないか等を常に意識し、県民目線で議論を行うとともに、透明で信頼される教育行政を推進します。

施策の推進に当たっては、

- ・ 学ぶ人が生き活きと学び、教える人も現場で情熱と誇りをもって教えているなど、現場の人の思いが実現され、人が現場で輝いていること〔現場〕
 - ・ 本来の目的を忘れることなく、何のためにやっているのかという目的意識を常に持って行動すること〔ミッション〕
 - ・ 政策や事業を決定していく場合、県民の声を聴き、県民と議論を重ねることと信頼関係をつくること〔プロセス〕
- を大切にします。

2 教育大綱2019(案)

(2) 取組の方向性

第13回総合教育会議での各委員の発言などを踏まえ、大綱（案）を作成。

○教育大綱に記載する施策の範囲と基本施策名

(施策の範囲)

総合計画2019の教育、生涯学習、文化、スポーツ、子育て※1、雇用・労働※2に関する部分をもって構成 （前回大綱と変更なし）

(基本施策名)

- ・教員の質が重要との意見から、「教育を支える人材の育成と環境整備」に変更
- ・県内就職を促進する観点から、「佐賀の産業を支える人材の育成」に変更
- ・子育て施策は佐賀らしい取組が分かるよう、「子育てし大県“さが”の推進」とし、1つの施策に変更

※1 総合計画の子育て分野から、教育に関係の深い施策が対象

「子ども・若者を支え育てる環境づくり」（体験・交流活動、子育て支援、保育所・放課後
児童クラブ、幼児教育、保育サービスなど）

「配慮が必要な子ども・若者や家庭に寄り添う環境づくり」

（児童虐待、子どもの貧困、ニート・ひきこもり対策など）

※2 産業人材育成に関する施策の学校教育に係る部分を対象⇒「教育」分野として整理

「佐賀の産業を支える人材の確保」（職業観の醸成、専門的技術の習得、高校生の県内就職など）

佐賀県教育大綱2019(案) 基本施策

施策分野	基本施策名	基本施策の主な内容
教育	1 志を高める教育の推進	<u>学力3要素の育成、郷土学習、キャリア教育、体験活動充実</u>
	2 確かな学力を育む教育の推進	学力向上、主体的・対話的学び、家庭学習、きめ細かな指導
	3 豊かな心を育む教育の推進	心の教育、不登校・いじめ対策
	4 健やかな体を育む教育の推進	体力・運動能力向上、食育、健康の保持増進、安全教育
	5 多様なニーズに対応した教育の推進	<u>特別支援教育、海外交流</u> 、ICT利活用教育
	6 教育を支える <u>人材の育成</u> と環境の整備 (教育を支える環境の整備)	<u>教員の確保・養成、教員の質の向上、学校業務改善、魅力づくり</u> 、コミュニティ・スクールなど
	7 <u>佐賀の産業を支える人材の確保</u> (産業を支える人材の確保)	<u>企業見学会、インターンシップなど職業観・勤労観の醸成、産業界と連携し高校生の県内就職を後押し</u>
	8 私立学校の魅力づくり	魅力づくり・発信、産業人材確保、学びのセーフティ・ネット
	9 高等教育機関の充実	学びの選択肢拡大、魅力向上、若者の県内定着
子育て	10 <u>子育てし大県“さが”の推進</u> (子ども・若者を支え育てる環境づくり、 配慮が必要な子ども・若者や家庭に寄り 添う環境づくり)	体験・交流活動、子育て支援、保育所・放課後児童クラブ、幼児教育、保育サービス、児童虐待、子どもの貧困、ニート・ひきこもり など
生涯学習	11 ライフステージに応じたまなびの 環境づくり	多様な学びの場、体験・交流活動、社会教育者の資質向上、読書環境の充実、図書館の充実など
文化	12 多彩な文化芸術の振興	文化芸術活動の裾野拡大、文化芸術活動など
	13 豊かな文化・歴史の継承と魅力発信	資源の保存・活用・継承、 <u>偉業偉人の顕彰</u> 、魅力発信
スポーツ	14 トップアスリートの育成と 地域が元気になるスポーツの推進	SSP構想を中心としてスポーツ振興

第13回総合教育会議での主な意見①

「志」、「佐賀への誇り」に関する意見①

- 自分で選び、判断し、自分の足で歩く子どもたちを育てる教育が必要。(小林委員)
- 一人の人格者として子どもたちに敬意を表したうえで、自分で決めるということをきちんと教えることが大事。(山口知事)
- 教師の一番の仕事は子供の心に火をつけること。維新博で蒔いた志の種をどう育てるのは先生方の指導力による。(飯盛(清)委員)
- 将来に向けて何を身に付けさせるか、どんな力を身に付けさせるか、ということを授業だけでなく、教育活動の中で考えていけるような教員が必要。(白水教育長)
- 東京と比べた価値観ではなく、価値観をリフレーミングしていくことが必要。(加藤委員)
- 小さい時から自分のまちの企画などに参画し、社会に貢献することができるんだという取組を進めることで、なぜ勉強が必要なのか改めて考える機会にする。(白水教育長)



「基本施策1 志を高める教育の推進」に反映

【取組方針】

- 児童生徒の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的な学習態度」の育成を目指し、授業改善や指導力向上などの取組を推進。
- ふるさと佐賀への誇りや愛着を持ち、佐賀のよさを語ることができる人材を育成。
- 県内産業界と連携し、キャリア教育を充実。
- 多様な価値観や文化に触れ、広い視野を持ち自分の活躍の場を考えられる人材を育成。

第13回総合教育会議での主な意見②

「志」、「佐賀への誇り」に関する意見②

○子どもたちが佐賀を誇りに思えるような意識に変わってきたと感じるが、親の意識も変えないといけない。子どもたちだけでなく、県民全体の志を高めていくことが必要。(牟田委員)

○維新博で終わらせずに、今後も付加価値をつけて、志を高めてほしい。(加藤委員)



「基本施策13 豊かな文化・歴史の継承と魅力発信」に反映

【取組方針】

肥前さが幕末維新博覧会により広く県民に芽生えた郷土への愛着と誇りをしっかりと定着させるため、引き続き佐賀の偉業や偉人を顕彰します。

第13回総合教育会議での主な意見③

「教員の質の向上」に関する意見

○「虫の目」、「鳥の目」、「魚の目」の研修が教員の指導力を高めるポイント。教員は多忙なため、先を見据えて改善ができない。(飯盛(清)委員)

○優先順位をつけた業務の見直し、情報共有できる体制づくり、教員の仕事量の分析など、働き方を分析して、教員の働く環境を改善することが必要。(飯盛(裕)委員)

○多種多様な子どもたちを抱え、対応が難しくなっている。失敗してもいい、一人一人に寄り添った対応をしていくべき。失敗は次につなげ、教師も生徒もどう改善していくかという中で成長することが大事。(白水教育長)

○人間は成長する生き物。教員も生徒に気づかされたりして、一緒に成長していくという中に価値がある。(山口知事)

「基本施策6 教育を支える人材の育成と環境の整備」に反映

【取組方針】

- 教員採用選考方法を改善し、優秀な人材を確保するとともに、大学と連携し、指導力のある教員を養成します。
- キャリアステージに応じた研修や教育課題に応じた研修などを実施し、教員の資質向上に取り組みます。
- 学校現場における業務改善に取り組みます。

第13回総合教育会議での主な意見④

「県内就職」に関する意見

- 就職支援員を中心として、労働局、県、学校をまとめて一本化するような仕組みで取り組んでほしい。(牟田委員)
- 企業と学校はもっと行き来し、情報を共有し、お互いに信頼関係を築く必要がある。(白水教育長)
- 県外の大企業に就職することが素晴らしいことだという考えを改める必要がある。優秀な子どもが県内企業に就職すれば、可能性がいくらでも出てくる。(山口知事)



「基本施策7 佐賀の産業を支える人材の確保」に反映

【取組方針】

- 企業見学会、長期企業実習、インターンシップなどの体験型学習により、職業観・勤労観の醸成を図ります。
- 県内の事業所と学校との更なる連携を図り、高校生の県内就職を支援します。

第13回総合教育会議での意見⑤

その他の意見

○より多くの学生が海外交流の経験ができる施策を増やすなど、海外交流を今以上に進めていけたらと思う。(飯盛(裕)委員)

○支援が必要な子どもの特別支援教育は大事。(飯盛(裕)委員)

「基本施策5 多様なニーズに対応した教育」に反映

【取組方針】 海外留学や学校交流の支援、特別支援教育の充実

○外国人労働者が増えていくことが予測される中、佐賀県でも母国語が日本語でない子どもたちが増えていくと思われるため、調査等行いながら対応をしていかなければならない。(飯盛(裕)委員)

「基本施策2 確かな学力を育む教育」に反映

【取組方針】 きめ細やかな指導の充実

総合計画の「世界と行き交う佐賀づくり」に反映

【取組方針】 外国人とのコミュニケーションを深め、豊かな生活を実現できる社会づくり

○障害者の農福連携が増加していて、意欲的な若手の農業者と働きたい障害者とのマッチングをしてほしいという声がある。(山口知事)

総合計画の「障害者の就労支援」に反映

【取組方針】 農福連携推進事業など、就労や工賃向上を支援

（参考）佐賀県教育大綱 基本施策（新旧対照）

施策分野	現教育大綱	教育大綱2019(案)
教育		1 志を高める教育の推進
	1 確かな学力を育む教育の推進	2 確かな学力を育む教育の推進
	2 豊かな心を育む教育の推進	3 豊かな心を育む教育の推進
	3 健やかな体を育む教育の推進	4 健やかな体を育む教育の推進
	4 時代のニーズに対応した教育の推進	5 多様なニーズに対応した教育の推進
	5 教育を支える環境の整備	6 教育を支える人材の育成と環境の整備
	6 産業人材の育成	7 佐賀の産業を支える人材の確保
	7 私立学校の振興	8 私立学校の魅力づくり
	8 高等教育機関等の充実	9 高等教育機関の充実
子育て	9 保育サービスの充実と子どもの居場所づくり	10 子育てし大県“さが”の推進
	10 地域で支える青少年の健全育成	
生涯学習	11 未来に活かすまなびの環境づくり	11 ライフステージに応じたまなびの環境づくり
文化	12 多彩な文化芸術の振興	12 多彩な文化芸術の振興
	13 特色ある地域文化の保存・継承と魅力発信	13 豊かな文化・歴史の継承と魅力発信
スポーツ	14 誰もがスポーツを楽しむ環境づくり	14 トップアスリートの育成と地域が元気になるスポーツの推進
	15 人と地域が元気になるスポーツの推進	

新設

統合

統合